「ＪＳＡＦ　パフォーマンスハンディキャップ　小委員会」発足のお知らせ

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　14/May/2012 　　　八木達郎

先日(５月１１日)の外洋計測委員会で林委員長のもと正式に承認されました。

＜目的＞

　ＩＳＡＦにエンピリカルハンディキャップサブコミティがあるので、ＪＳＡＦにも「パフォーマンスハンディキャップ小委員会」をもうけて、エンピリカル(経験則)ハンディキャップの運用の情報を共有化する。

　ＪＳＡＦの制式レーティングである「ＩＲＣ」や「ＯＲＣ」をおびやかすものではない。そのため原則として計測および公式のない「経験則ハンディキャップ」を対象とする。その目的はあくまでレース参加艇の底辺を広げることである。

＜運用指針＞

1. 経験則で「ＩＲC」や「ＯＲＣ」の数値をあてはめることは容易で、各地で行われているが、厳密には違法である。（訴訟の対象になる）したがって数値はこれらの値から変えるべきである。（換算式で簡単に変えられる）
2. 数値は各地区のハンディキャッパーが独自に決めて良く、中央で数値を決めて配布するものではない。（これは制式レーティングの役目である）ただし情報交換はする。
3. オーナーまたは代理人には各艇のレーティング申告書を提出してもらい、これをもとにレーティング数値を作成する。何のデータもないところからは数値は作らない。
4. 艇長会議の前に全艇の数値をチェックして、必要なら修正して、必ずスクラッチシートの形式で公表する。（エントリー順ではスクラッチシートにならない）
5. レーティング数値はレースのたびに見直しが行われ、変更がある場合は元データも同時に変更する。（変更は０．５％～１％位が望ましく、あまり頻繁でもいけない）
6. レース参加艇のオーナーもしくはスキッパーにはＪＳＡＦの会員であることを強く推奨する。

以上はあくまでも私が考える「パフォーマンスハンディキャップ」の基本的な運用例です。すでにクラブレース等でパフォーマンスハンディキャップの運用をされている代表の方で興味のある方は連絡ください。さらに詳しい資料をお送りします。又この委員会の趣旨に賛同もしくは協力いただける方は、小委員会の委員として登録をさせていただきます。

＜連絡先＞

八木達郎

ＴＥＬ/ＦＡＸ　０４６－８４７－１３１０(自宅)

ＴＥＬ　　　　０４６－８５７－２６５５（ウルマーセイルズジャパン内）

ＦＡＸ　　　　０４６－８５７－２６５６（同上）

携帯　　　　　０９０　８０５４　２８５７

メール　　　　bonnou@nifty.com